

第5号

平成23年4月1日

株式会社
あつまるタウン田原

TEL: 0531-24-2345

FAX: 0531-24-2346

田原市田原町萱町1

<http://www.tahara-tmo.com/>

街歩ook原

街あるっく田原

第5号



街の景色



市内の様々な所で菜の花が咲き、早い桜は既に開花し見頃を迎えています。美しい花々が咲くこの季節は私の好きな季節でもありません。

この街に来て最初に感じたのは、田原の街はとても綺麗であること。そして、菜の花などの花がたくさん咲き、暖かさと明るさでいっぱい素敵な街だと感じました。(余談ですが、私は菜の花が大好きで、長女の名前を『花菜(かな)』と名付けた程です。)



この街に来たのは、平成21年の4月。街の桜と沿道の菜の花が満開の時期でした。セントファールの一画にある三菱東京UFJ銀行田原支店の支店長として勤務し、早2年が経ちます。もとと岐阜県大垣市の出身ですが、学生時代は愛知大豊橋校舎で過ごしました。そして大垣は田原藩主戸田家から殿様を迎えた同

じ流れをくむ城下町。そういつた事からこの街で働くことに大変な縁を感じています。

この街に来て最初に感じたのは、田原の街はとても綺麗であること。そして、菜の花などの花がたくさん咲き、暖かさと明るさでいっぱい素敵な街だと感じました。(余談ですが、私は菜の花が大好きで、長女の名前を『花菜(かな)』と名付けた程です。)

風が強いのも印象的で、雨が一緒に降った時は、三河田原駅から支店まで歩くだけで膝から下がずぶ濡れになります。しかし、強風や雨にうたれ、改めて花や野菜、果物を育てるための豊かな自然、天のめぐみに私たちは生かされているのだと感じます。

この街にお気に入りの場所があります。それは、崙山会館周辺の殿町から本町、新町、萱町と歴史を感じさせながら、新しい街並みとのコラボレーションが城下町ならではの趣を醸し出す「通り」です。

こういった街並みがあるからか、ここで暮らす人達の郷土意識はとても強い。田原祭りのようなイベントを筆頭に、積極的に街の行事に参加する姿勢は素晴らしいと思うと共に、羨ましくも感じます。地域の清掃活動などでも、皆が協力して自発的に行っているから、この街の美しさを継続していけるのだと思います。

多くのイベントや活動を見てきて、私も参加したいと思うようになり、昨年9月には「伊良湖トライアスロン」Bタイプに出場しました。競技として走る事さえ初めてです。



たが、4カ月間練習し、無事完走する事ができました。ゴールでは地域のたくさんの方を迎えていただき、この街の住人として一歩近づけたのではと感じています。

この街の方々は、温かく誰でも迎え入れてくれる優しさがあります。これから時が経っても花と優しい笑顔が一杯の街であり続けて欲しいと思います。



三菱東京UFJ銀行 清水泰晴



滝頭公園 ソメイヨシノ

◆桜の名所として人気の滝頭公園。公園一帯で3千本もの桜が咲き誇る。4月3日には「滝頭桜まつり」が開催される。

じょうれんじ 浄蓮寺 枝垂桜

◆滝頭公園の入口にある浄蓮寺。知る人ぞ知る枝垂れ桜のスポット。



清谷川 沿い

◆清谷川沿いの遊歩道。この時期になると桜のトンネルに変身する。



田原城址 界限



田原城址、田原市博物館、華山会館にはソメイヨシノが植えられている。歴史ある町並みと桜のコラボ。

むつれ 六連町 枝垂桜



◆「たはらの巨木・名木100選」に選ばれている六連の枝垂桜。ぐるりんバス百々駅近くに42号線から見る事ができる。

はつたちいけ 初立池



◆初立池の湖畔を中心に約千本のソメイヨシノが植えられている。「桜のプロムナード」(1周約2.4km)で散策を楽しめる。

Seasonal Event!

春の名所

in TAHARA

4月に入り、色とりどりの花が咲いてきました。

田原市には、桜やシデコブシの名所など様々な場所で春を感じることができます。お弁当やカメラを片手に春を散策してみたいかがでしょう。



成章高校



◆成章高校の正門前に咲くオオタ桜。田原出身の植物画家、おたようあい太田洋愛が飛騨白川郷で見つけた。八重桜の系統で、蕾は鉦かねの形をした赤く小さなもの。花卉が90枚以上ある大型の花。

田原福祉 専門学校



◆福祉専門学校にはソメイヨシノが咲く。歩いてすぐの池ノ原会館の全楽庵では、抹茶と和菓子で一息つける。

渥美郷土資料館 薄墨桜



◆蕾のうちは淡紅色で開花し、散り際に薄い墨色に変わることから薄墨桜と呼ばれている。田原市内では珍しい種で、緋寒桜と並んで渥美郷土資料館の南側に植えられている。

サンテパークたはら

◆四季の花を楽しめるサンテガーデンには、この時期チューリップが咲き、賑やかな装いを見せる。田原市で採れた新鮮な野菜を販売している「マーケット」や、直接食べることができる「レストラン」、ウインナーやパンを作れる「体験工房」、芦ヶ池をぐるっと一周する「サイクリングコース」などがあり、1日中自然と触れ合うことができる。



蔵王山展望台

◆蔵王山は標高250.1 mの小さな山。麓の権現の森から山頂までのハイキングコースには、桜並木もあるので春の散歩にはちょうどいい。40分程で頂上に着くと、

田原の景色を一望できる展望台がある。条件のいい時は富士山も見ることができ、ウォーキングやサイクリングを楽しむ人が集う。売店では、「炭焼きコーヒー」「ソフトクリーム」「みたらし団子」が人気。田原のオススメ土産も多数そろえている。4月上旬には、昨年末に植えた1,000本の色とりどりのチューリップが咲き、山頂はより賑やかになる。

滝頭山のコバノミツバツツジ



◆4月上旬、滝頭山の恐竜の背に咲くコバノミツバツツジ。渥美半島の岩場や痩せ尾根に生える落葉低木で、花は紅紫色。中部から関東地方に分布するミツバツツジに比べて、雄しべは7～10本で葉が多少小さいためこの名がある。

黒河湿地



藤七原湿地



◆シデコブシは周伊勢湾要素植物と言われ、分布は日本の中でも東海三県の伊勢湾周辺にのみ自生している。絶滅危惧Ⅱ類にも指定されており、春になると多く人が見物に訪れる。藤七原では、シデコブシがトンネル状になった場所もある。伊川津の群落には、およそ70株が自生。榎なぐさの群落には、およそ200株が自生する。黒河では湿地の縁に並んでいるため、花の咲いたシデコブシがよく見える。

伊川津・榎なぐさ



街なかイベント情報

◆セントファール◆ ・4月17日(日) 14:00～鯉のぼりイベント(まちなか賑わいづくり実行委員会主催)
*アイレクス主催のキッズベリーダンスショーも同時開催!

◆蔵王山展望台◆

- ・4月3日(日) 11:00～春休み!お菓子投げ! ・5月1日(日) 11:00～ ゴールデンウィークガラガラ抽選会(予定)
- ・5月7日(土)「極上のヒストリックカーラリー」
中部国際空港から出発した約50台のクラシックカーがホテルシーパレスまで伊良湖を通りながら走行。
蔵王山展望台第3駐車場には14時頃集まる予定。

◆滝頭公園◆ ・4月3日(日) 9時30分～滝頭桜まつり(桜のライトアップは東北地方太平洋沖地震に配慮し中止。)

田原で育った柴田さんは、県内の大学・大学院に通い、卒業してから父の経営する酒屋で働き始めた。学生時代に手伝ったアルバイトも入れると、今年で26年のベテランだ。昔から酒は好きだったそうで、平成10年には「酒類官能士」の資格を取得。企業の生ビールアドバイザーとしても認定されており、お酒の事を



田原の企業・お店で活躍されている方を紹介します！

File No.1

しばた やさけてん 柴田屋酒店
しばた みつはる 柴田 光晴さん



お酒を試飲できたりする。も多くの人が日本酒に興味を持ち、好きになってもらえたら嬉しいと話す。

そんな柴田さんは、高校時代にはラジオ部（アマチュア無線部）に所属。「ポケベルや携帯電話のない時代で、電波を飛ばして遠くの人と話せる事が嬉しくてね。モース信号も打てるよ」と楽しそうに教えてくれた。

現在は、NPO法人たはら本舗や、まちなか賑わいづくり実行委員会にも所属し、街の賑わいづくりに積極的に参加している。

「地域に必要とされる店」が柴田さんの理想の店。「個人経営の酒屋は、酒類販売の規制緩和と価格競争で半減した。時代の流れもあるが、



柴田屋酒店内にある「甘酒カフェゆふ」。季節に合わせた甘酒を提供している。写真は林檎甘酒。

質問すると、分かりやすく丁寧に教えてくれる。せっかくなのでお勧めのお酒を聞いてみた。「お勧めはこれだね」と持つてきてくれたのは、田原の銘酒「優」。地元、田原市野田町で作られた野田米と天竜川の伏流水を使った純米大吟醸だ。他県から来たお客さんや、故郷を遠く離れて住む人の帰省土産としても人気のお酒。名前の通り、口当たりも優しい。



最近では、第3のビールや発泡酒の売れ行きが好調な中、若い人の日本酒離れが進んで

きた。と柴田さんは話す。日本酒は、「醸造酒」と言われる発酵させて作る酒の中で、世界で一番アルコール度数の高い飲み物なんだそう。最近某番組でその効能を紹介された酒粕も、酒を造る過程でできる副産物。巷に回响っているいわゆる安い酒からは、ほとんど取る事はできない。日本酒造りという日本の伝統文化を守りたい。という思いから、柴田屋酒店も加入している豊橋小売酒販青年会事務局では、一般の人を対象に「日本酒再発見」をテーマとし、イベントを開催している。

イベントでは、普段入ることのできない東三河の酒蔵を見学できたり、樽から出した



＜柴田屋酒店＞

田原市田原町柳町 23 番地
TEL：0531-22-0826
営業時間：9時～21時
定休日：日曜日

＜甘酒カフェゆふ＞

柴田屋酒店内
営業時間：10時～13時
15時半～17時半
定休日：日曜日

小売店がなくなってしまうと、街全体の活気がなくなり閑散としてしまう。そして人とのつながりが希薄になる。だからこそ、街の小売店が地域に根付いて頑張っている。だから「肉は肉屋。酒は酒屋。で買ってね」とPRも忘れず話してくれた。お花見の季節。酒屋で買った日本文化を楽しみながら桜を眺めてはどうだろう。